



2024年5月14日

各 位

会 社 名 アステリア株式会社

代表者名 代表取締役社長 平野洋一郎

(コード番号:3853 東証プライム)

問合せ先 常務執行役員コーポレート本部長 齊藤裕久

(TEL 03-5718-1655)

## 特別損失の計上（単体）および通期（単体および連結）業績の前期実績との差異に関するお知らせ

当社は、2024年3月期（2023年4月1日～2024年3月31日）決算（単体）において、特別損失を計上いたしました。また、通期（単体および連結）業績につきまして、前期実績との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 特別損失の内容

当社の100%連結子会社であるAsteria Vision Fund Inc.の経営成績及び財政状態を勘案し、関係会社株式評価損143百万円、債権残高に対する貸倒引当金繰入額279百万円をそれぞれ特別損失として計上することといたしました。

なお、当該特別損失は、当社の個別財務諸表のみに計上されるものであり、連結決算上相殺消去されるため、連結財務諸表に与える影響はございません。

#### 2. 個別（単体）前期実績との差異について

2024年3月期通期個別業績と前期実績との差異（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期（2023年3月期）実績(A)	2,859	132	326	△678	△40.35
当期（2024年3月期）実績(B)	2,993	649	940	859	51.08
増減額(B-A)	134	517	615	1,537	—
増減率(%)	4.7%	390.4%	188.7%	—	—

#### 3. 差異の生じた理由

個別（単体）の売上高については、「ASTERIA Warp」（アステリア ワープ）を主力製品とするソフトウェア事業が伸張した結果、前期実績を上回る結果となりました。

個別（単体）の営業利益および経常利益については、前期は中期経営計画「STAR」に沿った人員の拡充やマーケティング施策を重点的に実施したことにより少額となりましたが、今期は販売費及び一般管理費の効率化および削減に取り組んだ結果、前期実績を大きく上回りました。当期利益につきましては、前期は関係会社株式評価損を計上したためマイナスとなりましたが、当期は同様の損失が発生しなかったため大きく改善いたしました。

4. 連結前期実績との差異について

2024年3月期通期連結業績と前期実績との差異（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期（2023年3月期）実績(A)	2,785	△1,955	△1,755	△1,673	△99.63
当期（2024年3月期）実績(B)	2,909	△3,642	△3,242	△1,811	△107.84
増減額(B-A)	124	△1,687	△1,486	△138	—
増減率(%)	4.4%	—	—	—	—

5. 差異の生じた理由

当社グループの売上高については、「ASTERIA Warp」（アステリア ワープ）を主力製品とするソフトウェア事業が伸張した結果、前期実績を上回る結果となりました。

利益については、当社の企業投資事業における Asteria Vision Fund I ,L.P.を通じた出資先である Gorilla Technology Group Inc.の株式（米NASDAQ上場）について、株価下落を要因とする有価証券評価損を計上したことにより、前期実績を下回る結果となりました。

※2024年3月期の業績（連結）につきましては、本日公表の「2024年3月期 決算短信〔IFRS〕（連結）」をご参照ください。

以 上